

新見 亜矢子 アート ギャラリー

日時：平成 26 年 4 月 22 日(火) 午後 2 時～午後 4 時

会場：北海道・マサチューセッツ協会 総会会場 (KKR ホテル札幌 3 階「エルム」)
(札幌市中央区北 4 条西 5 丁目南向き)



展示作品名

- | | |
|--------|----------------|
| ① オオカミ | ⑤ 秋 |
| ② 風景 | ⑥ 道 |
| ③ 駅 | ⑦ グランドキャニオン I |
| ④ 北の街 | ⑧ グランドキャニオン II |

[プロフィール] 画家：新見 亜矢子 (にいみ あやこ)

1979 年(昭和 54 年)北海道磯谷郡蘭越町生まれ。1997 年岩内高校卒業後、北海道教育大学札幌校(美術・工芸)に進学。2003 年同大学院教育学研究科修士課程終了。教職に就き、現在は札幌市立米里中学校教諭(美術)。

学生時代より油絵画家として才能を認められて、活発な創作・展覧会活動をつづけて現在に至っています。

《主な展覧会等》1997～2013 北海道美術協会展('02 新人賞, '03 佳作賞, '09 会友推挙)。 2000 岩内町・札幌市で個展。北海道・マサチューセッツ州姉妹提携 10 周年記念全道学生美術展 入選(最優秀賞)。2001 岩内高校美術部OB「仲間たち展」(~2013)。札幌美術展。岩内町で個展。 2002 札幌で二人展。2003 北海道教育大学大学院修了制作展。 2007 岩内町で三人展。 2008 札幌美術展。 2009 札幌市・岩内町で個展。 2010 平成の「生れ出づる悩み」コンテスト入選。 2011 個展(札幌市) 2012 個展(札幌市)

2013 若手作家展「再会-reunion」(ニセコ町) 2014 個展(札幌市)



①「オオカミ」 2000年7月 S 50 (116,7cm × 116,7cm)

オオカミの持つ、神秘的な雰囲気にはかれます。ひきしまった顔立ちをしています、ときどき温かみのある表情をみせます。独特の存在感を自分なりに表現したいと思いました。



②「風景」 2002年7月 F 50 (116,7cm × 91,0cm)

アメリカ旅行の途中で、車窓から目にした風景です。私の故郷にも大きな煙突のある建物があり、一瞬、帰郷中であるかのような錯覚をしました。何気ない…でもどこか懐かしい…そこで感じた空気感を画面で伝えたいと思いました。



③「駅」 2009年6月 F 10 (53,0cm × 45,5cm)

出発と出会いの場、「駅」。駅をテーマとした作品を、もう10年以上描き続けています。臨場感のある作品をつくりたいと思っています。この作品の駅は、今、住んでいる家からも近い、札幌市内の駅です。夕暮れのあたたかいひかりを浴びた駅のホームに立っていると、つい列車に乗るのを忘れそうになります。



④「北の街」 2003年2月 P 30 (91,0cm×65,2cm)

駅と同様に、市場も、学生時代から何度も描いてきました。大きな威勢の良い声が響く朝市も、旅人がのんびりと 買い物をする夕方の市も、大好きです。画面から音が聞こえてくるような、そんな絵が描きたい…と思いながら制作しています。



⑤「秋」2009年9月 F 25 (65,2cm×80,3cm)

夕刻のひかりが、街並みや自然を、ゆっくりとつみこんでいく様子を見るのが好きです。伸びきったセイタカアワダチソウが大きくゆれ、草がざわめくの音を聞くと、秋の訪れを感じます。



⑥「道」 2011年7月 F 20 (72,7cm×60,6cm)

街を歩くのも好きですが、ごわごわとしたやわらかい土の感触が伝わる小道をのんびり歩くのも好きです。土のおいを楽しみながら…そして、道の先にある、これから出会える風景を想像しながら…歩きます。



⑦「グランドキャニオンⅠ」 F 10 (45,5cm ×



⑧「グランドキャニオンⅡ」 F 10 (45,5cm × 53,0cm)

アメリカ西海岸は、初めての海外旅行で訪れた地です。大地の層と空気の層がおりなす世界にすっかり魅了されました。こちらも、この山々と空にとけ込んでいけるのではないか…そんな風に思いました。これまで、何度もモチーフにしています。(2014年制作)